

# ドリーム チームが

特集 I

宝くじスポーツフェア

ドリームベースボール開催記念

野球ボール贈呈式



▲横尾市長と記念撮影

ドリームベースボールで使  
た軟式野球ボールの贈呈式を12月  
8日、市役所で行いました。横尾  
市長から市内3校の中学部野球部  
と、4つの少年野球チームに贈呈  
しました。

ドリームベースボール抽選会



▲当たったあ!?



▲ワクワクドキドキの会場

元プロ投手の若田部健一さんと前田幸長さんのボールを体感  
プロに挑戦!!



▲多久市選抜チーム



▲試合がなくて残念でした



▲予告ホームラン!?



プロに質問!!



▲元プロと公募で選ばれた人の記念撮影



▲神崎市出身の野中<sup>のなかしんご</sup>信吾さんの抽選



どう練習をしたら  
強い選手になりますか?



▲「柔軟運動も大切です」と多久市  
選抜選手<sup>やまづけいいち</sup>の背中を押す谷沢健一さん

市制施行60周年記念事業として宝くじスポーツフェア「ドリーム・ベースボール」(県、多久市、(財)自治総合センター主催)を11月30日、多久市野球場などで開催しました。

400勝投手の金田正一さんを筆頭に元プロ野球選手24名からなるドリームチームが多久市を訪れ「少年少女ふれあい野球教室」やトークショーをおして児童生徒やファンらと楽しく交流しました。

ふれあい野球教室では、多久市内外から小中学生34チーム約500人が参加し、投手・捕手・守備・打撃に分かれ元プロ選手から直接指導を受けました。

打撃指導では、元ソフトバンクホークスの本間満さんや神崎市出身で元横浜ベイスターズの野中<sup>のなかしんご</sup>さんが「前の足が伸びきらないように」「強くボールを叩く」「頭の先から足まで一本の軸を意識する」などと指導、少年らは真剣な眼差しで聞き入っていました。

ドリームチーム対多久市選抜チームとのドリームゲームは、あいにくの雨で中止となりましたが、金田正一さんのふれあい講演会、サイン入りグローブなどが当たる抽選会、トークショーなどで会場は大いに盛り上がりました。